

国立環境研究所
里山再生セミナー



里山プロジェクト
Presents

令和8年度福島県地域創生総合支援事業(サポート事業)



国立環境研究所 気候変動適応センター 副センター長

西廣 淳 博士

「里山再生で目指す未来」

～恵みの森をふたたび～
魅力ある里山の価値を見直してみる

2026年8月29日(土)

14:00～16:00

定員50名

喜多方市役所 ホール棟2階 大会議室

西廣淳:博士(国立環境研究所 気候変動適応センター 副センター長)

略歴:主な研究に「生物多様性保全」「自然再生」「地域協働」「気候変動適応」「湿地生態系」等があり千葉県等の現場で自然を活かした地域づくりに取り組んでいる。国土交通省土木研究所、東京大学農学生命科学研究科、東邦大学理学部を経て2019年から国立環境研究所。

主な編著書に「保全生態学の挑戦 空間と時間の捉え方」(東京大学出版会)『実践版!グリーンインフラ』(日経BP)『人と生態系のダイナミクス5河川の歴史と未来』(朝倉書店)など

主催:里山プロジェクト 後援:福島県/喜多方市/福島民友新聞社

熱塩加納鷺田の里山プロジェクトは、地域/樹木医/ビオトープ計画管理士が
タッグを組み放置林を借り受け、再生管理で収益を上げ自立する実証実験です

satoyama500.com

里山プロジェクト(熱塩加納)

令和8年度福島県地域創生総合支援事業(サポート事業)

お申込みはお早めに →
sato@satoyama500.com
〒966-0103福島県喜多方市
熱塩加納町加納字鷺田3880
あつしおかのうち

里山再生Project

福島県喜多方市
熱塩加納
atsusio kano

satoyama500.com



ホオノキ

ウラジロヨウラク

アオダモ

クロモジ

ネジキ

ツクバネウツギ

ウワミズザクラ

里山プロジェクト



会津北部、山形県境の福島県喜多方市熱塩加納町鷺田で里山保全活動をしています。
環境省「生物多様性のための30by30アライアンス」加盟団体の熱塩加納未来会議から2026年2月に分離独立。

熱塩加納未来会議は2022年に設立。地域をPRする村の観察会「むらかん」を始めました。陸地化した遊休田をビオトープ化。野鳥・自然観察会や自然講座を開催するなど生物多様性をテーマに地域づくりを行っています。

里山プロジェクトは、

1. 自分たちの作業料は自分たちで稼ぐ
2. ボランティア無償強制労働はダメ！
3. 国内外来種にも注意を払い自然回復
4. 将来はプチ林業で稼ぐ団体を育てる

ことをコンセプトに勉強会など活動を開始。



ウラナミアカシジミ



ルリシジミ



カエデの仲間



ガズミ

2026年、福島県地域創生総合支援事業(サポート事業)に採択され始動
毎月開催の「ざっくり&深掘り自然講座」「里山の樹木のはなし」などで
植物の生き残り戦略や美しい木々の花観察会などを開催しています。

実証林の状況



現在、約7,000㎡の放置林を管理しています。
樹種確認が終わっているのはまだほんの一角！割程度です。
多い樹種は、ヤマザクラ、カエデ類、リョウブ、アオダモ、
ガズミ、ツクバネウツギ、ホオノキ、ウラジロヨウラク、
ミズナラ、ナナカマド、コシアブラ、タラノキなどのほか、
クロモジ、ノリウツギ、ネジキ、ムシカリ、ウラジロノキ、
ナツハゼ、コマユミ、ウグイスカグラ等9割が広葉樹また、
ササバギンラン、シュンラン、チゴユリなどの草本も多様。



satoyama500.com

あつしおかのう
里山プロジェクト(熱塩加納)

令和8年度福島県地域創生総合支援事業(サポート事業)

お問合せはこちらから →
sato@satoyama500.com

〒966-0103福島県喜多方市
熱塩加納町加納字鷺田3880
あつしおかのう

